



広島県立
大崎海星
高等学校

学校紹介パンフレット

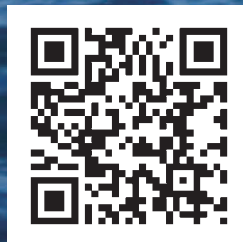
『**輝志海星**』

広島県立大崎海星高等学校

〒725-0301 広島県豊田郡大崎上島町中野3989-1

TEL 0846-64-3535 FAX 0846-64-3537

HP <https://www.osakikaisei-h.hiroshima-c.ed.jp/>



5 大崎海星高等学校 つの特長

1. 瀬戸内海の離島

瀬戸内海の「匠」の島「大崎上島」

大崎海星高校のある「大崎上島」は瀬戸内海の中央に位置する広島県の離島です。本土とは橋で繋がっていないため、フェリーでわたり訪れる島です。本土からフェリーで通う人も多く、毎日の生活の中に、穏やかな瀬戸内海を眺める風景があります。離島ならではの伝統や産業があり、温暖な気候を利用した農業があります。それぞれに時を重ねた技があります。大崎上島は「匠」のヒントが詰まった島です。流れゆく時代の潮目を読む遺伝子が大崎上島には存在します。これまでも、時代の潮目を読む政治家や経済の潮目を読み成功した起業家がいる島です。



大崎上島

2. 大崎上島学

時代の航界士を目指す 地域で学ぶ大崎上島学

本校の「大崎上島学」は、島の全てを題材とした課題発見・解決型のキャリア教育です。1年生では、島の伝統文化や地域の取り組みに触れることを通し自分自身を見つめ、自分自身の生き方・在り方を考える「羅針盤学」、2年生では、島の仕事や人と関わることを通し、時代にあった技術や知恵の活かし方を知る「潮目学」、3年生では、島を教材としてこれまで学んできたことを基に、プレゼンテーション、ファシリテーション、チームビルディングなどのスキルを高める「航界学」と定めて、段階的に学びを深めて行きます。今後、加速することが予想される少子高齢化という大きな課題に対して、時代の変化を正しく理解し、世の中における自分の位置を見定めて力強く生き抜いていく資質や能力の育成を目指しています。



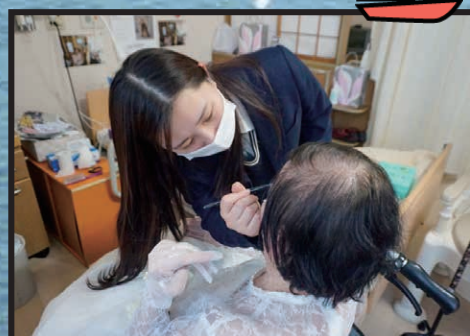
自分を読む「羅針盤学」

自分自身を見つめ、自分自身の生き方・在り方を考える。



時代を読む「潮目学」

時代に合った技術や知恵の活かし方を知る。



伝え、巻き込む「航界学」

プレゼンテーション、ファシリテーション、チームビルディングなどスキルを高める。

3. 公営塾「神峰学舎」 かんのみねがくしゃ

公営塾が生徒一人ひとりをサポート

「神峰学舎」は大崎海星高校内に開設された公営塾です。進路実現に向けてカリキュラムなどを記したカルテを作成し、個別学習やeラーニングで指導します。eラーニングではスタディサプリ等を利用し学習をします。また、定期的に行われる「夢★ラボ」では、自己理解と進路学習をします。その他、総合型選抜・推薦入試の対策講座も行っています。生徒の一人ひとりが自主的に学習できるようサポートします。



4. 夢★ラボ

自己理解を深め 進路や将来を考える

「神峰学舎」で定期的に行われる「夢★ラボ」は、課題発見・解決のための実践的な方法を学ぶ「大崎上島学」と連動し、自己理解を深め、社会の現状や課題を知ること、生徒それぞれが自分の進路や将来について考えていきます。



5. 校舎と寮



大崎海星高校校舎



教育寮コンパス



平成27年12月に竣工した校舎は、島の多くの職人や建築業者が携わり、地域の人たちに愛される地域のシンボルとなる学校づくりを目指して建設されました。管理棟に使用されている木材は、全て広島県内から集められ、地元の職人たちが新しい技術を在来工法で実現する方法を学び、挑み、そして生徒の学校生活を想いながら建てられました。また、県外などから入学する生徒の住まいとして、平成30年4月に、学生寮である教育寮コンパスが建てられました。親元を離れた生徒が寮生活を通じ、学校だけでは学べないような経験ができるよう、毎日の生活をサポートしていきます。

伝 統

大崎上島の伝統文化である「櫓伝馬」船を校内に搬入し、展示しています。



この船を港まで運び、当日に備え練習に励みます。



「旅する櫓伝馬」では、「櫓伝馬」船で大崎上島を一周します。当日は、天候に負けることなく最後まで頑張ることができ、最高の一日となりました。



教育寮コンパス

2年生 小林 蒼汰 (広島県出身)

私は教育寮コンパスの寮長をしています。この寮の一番のいいところは、学年関係なく皆が仲が良いところです。一緒にご飯を食べたり、勉強をしたり、ゲームをしたりで皆の団結力はとても高いです。しかし、そんな中でも礼儀正しい人が多く、とてもいい関係が築けていると思います。そして、この寮は他の学校の寮に比べ門限まで長かったり、できることの幅がとても広く、ハウスマスターも親身に何でも相談に乗ってくれます。ぜひこの寮に入って、大崎上島ならではの高校生活を送りましょう！



1年生 松清 立歩 (大阪府出身)

私の思うコンパス寮の魅力は、一人ひとりが自分らしくいきいきと生活していることです。寮は集団生活なので、まわりに合わせないといけなことが多いのかなと思っていたのですが、コンパス寮は自分をさらけ出せて、お互いを尊重できる空間だなと思っています。みんな個性豊かで、一緒にいてすごく刺激をもらえて、自分自身の世界観も広げることができました。困ったときは助け合えて、一緒に成長することができる寮が大好きです。



魅力ある部活動

みりよくゆうびん局 五十嵐 真生

私はみりよくゆうびん局に入って、学校紹介などでプレゼンをたくさんしました。そんな中、人前に出ることが嫌だった私が、回数を重ねるごとに自信がついて、楽しさがわかって、人前で話すことが好きになりました。どんな活動においても、みりよくゆうびん局では生徒主体で動き、そこに学校や地域が丸となって応援してくれます。多種多様な生徒が集まる大崎海星高校だからこそ、互いに刺激しあいチャレンジすることができるのがみりよくゆうびん局です。



みりよくゆうびん局 小林 宗志

私が思うみりよくゆうびん局の魅力は「苦手を克服できること」です。みりよくゆうびん局は「大崎海星高校の魅力を伝える」「地域と高校生をつなげる」「地域を活性化させる」ことを目的に活動しています。私は人前で話すことが苦手でしたが、みりよくゆうびん局に入って、たくさんプレゼンをする中で好きになるのではないかと思います。今では、学校見学ツアーの司会進行をしたり、東京に学校説明をしに行ったりすることで、その苦手を少しずつ克服しています。苦手を克服したい人、様々なプロジェクトを通して自分のやりたい！を実現させたい人はぜひ、みりよくゆうびん局に入ってみてはいかがでしょうか。



和太鼓部 文田 栞帆

私にとって和太鼓は、とてもかっこよくて魅力がたくさんあって、いくつになっても憧れの存在だと思います。みんなと和太鼓を叩いている時間が凄く好きだし、何より一生懸命さや必死さ、気合が凄く伝わってくる和太鼓部のみんなの演奏が本当にかっこいいです。一年を通して披露する機会は少ないですが、その日のために何ヶ月も練習して、いい意味で毎回同じ演奏にならない、そんな和太鼓部の演奏を楽しみにして頂けると嬉しいです。私達の大好きな和太鼓を聞いている皆さんにも好きになってもらえるようこれからももっととお互いを高め合っていきたいと思います。



和太鼓部 中本 冬花

私が思う和太鼓部の魅力は、団結する楽しさを感じられることです。私は、小学生の時から地域のなぎ太鼓保存会に参加し和太鼓を行ってきました。個人ではなく大人数での演奏として、左右それぞれが音と動きを揃えて一つの演奏にすることが、演奏する側も見ていただいている側も楽しめる場所だと思います。また、和太鼓部は、なぎ太鼓保存会の方に「海星」という曲を作っていただき、地域との繋がりを感じられるのも魅力の一つだと思います。

